

新型コロナウイルス感染症予防についての対応（日帰りプログラム）

東京 YMCA は、子どもたちから体験の機会が失われ、不安やストレスを抱える状況が長期化している中で、以下の感染対策をとりながら安全にのびのびと活動できる場を設け、心と身体の成長を支援していくため、プログラムを実施していきます。

▼体調管理・検温

- ・参加前に体調の確認を十分にご参加ください。
- ・検温を1週間前からお願いいたします。
- ・参加者本人または同居者が咳・のどの痛み・微熱、倦怠感、味覚・臭覚がない等の症状や少しでも体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
- ・参加者本人または同居者が過去2週間以内に海外への渡航歴がある場合は参加をお控えください。
- ・慢性的な肺疾患、循環器、腎臓、肝臓、神経、血液もしくは消化器官（糖尿病を含む）の疾患を持つ人（長い期間の治療を必要とし免疫力が低いとされる人）は可能な限り参加をお控えください。
- ・発熱等の症状が生じた方は医療機関を受診して参加の承諾を得るようお願いいたします。

▽発症した場合(症状が出た方)

- ・発症日の翌日から10日間経過（発症日を0日目としてカウント）し、かつ症状軽快後3日間経過している場合はプログラムへご参加いただけます。(症状軽快とは：解熱剤なしで解熱、呼吸器症状の改善傾向)

▽陽性反応したが無症状の場合

- ・検体採取日の翌日から7日間経過して引き続き症状がない場合はプログラムへご参加いただけます。

▽在校先または同居者で陽性者が出た場合

- ・濃厚接触者が特定されるまで、プログラムへの参加を控えてください。

▽濃厚接触者の場合

- ・最終接触日を0日として7日間の外出自粛、健康観察が必要です。(保健所や医師からの指示があればその期日を優先してください)

▼スタッフ・リーダーの対応

- ・スタッフやリーダーの体調管理を徹底して行います。発熱及び風邪の症状がある場合は活動に参加いたしません。スタッフやリーダーの同居者に同じ症状がある場合も同様とします。
- ・スタッフやリーダーも、感染防止のため不織布マスク・フェイスシールド等を着用します。
- ・全国的な傾向と参加者の居住地域及び滞在地域の感染者数及び増減傾向の把握に努めます。またスタッフ間で適宜情報共有をします。

▼プログラム参加中

- ・毎日検温をします。
- ・手指消毒、マスクの着用をお願いします。可能な限り不織布マスクをお勧めいたします。プログラム中、ソーシャルディスタンスが保てる場合やウォータープログラム、野外の活動等ではマスクを外す場合もございます。
- ・体調についてスタッフやリーダーとコミュニケーションをとり、早めの対応を心がけます。
- ・室内プログラムの場合は定期的な換気・消毒を行います。
- ・小規模グループに保ち「密閉空間」「密集場所」「密接場面」が発生しないように努めます。
- ・ご家庭でも「咳エチケット」、「むやみに手で口や顔などに触れない」、「至近距離での会話はさける」など感染予防をお子様ともご確認ください。

▼プログラムを中止にする場合

- ・感染拡大等によって安全な実施が不可能と判断される場合は、プログラムを中止いたします。活動に在籍されている方につきましては、当面の間は、参加費は参加後のお支払いとさせていただきます。

▼スタッフを含むプログラム参加者で陽性者が出た場合

- ・保健所などの指示に従って対応いたします。
- ・濃厚接触の疑いのある方へはお電話にてご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでのお知らせです。感染者が特定されないように個人情報には十分留意いたします。

▼プログラム参加後

- ・数日内に新型コロナウイルス感染症の発症もしくは可能性がある症状がありましたらY M C Aまでその旨、お知らせください。

※この「新型コロナウイルス感染症予防についての対応」は状況により内容の変更・追加も想定されます。その際は、YMCAよりお知らせいたします。一緒に感染予防に努めていきましょう。